

○北極の氷はその他に入るか、海水に入るか？

→海水に入る

○北極は氷河に入らないのか？

→入らない

○北極には氷河はないのか？

→北極圏にはグリーンランドやスピッツベルゲンなどに氷河はあるが、北極点周辺には陸地はないので氷河はない。

○体積を面積で割ると深さになるのはどうしてか？

→たとえば、円柱の体積は円の面積と高さとの積で求められるので、体積を円の面積で割れば高さが得られる。これと同じ原理である。

○海水温は、標高が上がるごとに気温が下がるのと同じ原理で変化するか？

→それは、気圧（水圧）に応じて変化するか、ということか？液体も温度に応じて体積は変化するが、気体よりもそれは小さいので、温度変化も小さいと思う。

○地下水の量は、どうやって測っているのか？

→おそらく、地質から推定している。地下水を含む地層の厚さと面積からその体積を求めて、それと、その地層中の地下水の含有率とから地下水の量を推定していると思う。

○大阪の泉南も淀川の水を使用しているのか？使用しているとすれば、わざわざ淀川の水を引くのは効率が悪いのではないのか？地元の河川を水源とするよりも淀川の方が都合がよいのか？

→利用している。大阪府 HP にある「大阪府の水道の現況」(<http://www.pref.osaka.jp/kankyoeisei/suido/h22-genkyou.html>) に詳しい。

○日本の水源の多くを河川水が占めているが、日本のように河川が多くない国や地域では水不足にならないのか？海水や地下水を利用しているのか？

→乾燥地域では、水不足になっている。地下水を利用している地域は多い。乾燥地域で資源が豊富な地域（産油国など）では、海水を淡水化して利用している。

□もし地球の海が水深 3.74 km のお風呂だったら、海水温のグラフと熱膨張のグラフはもっときれいに比例するか？

→地球の海が水深 3.74 km のお風呂、というのは、どのような条件を意味しているのか？地球の海よりも狭い面積の場合ということか？

□大阪は淀川以外の水源はないのか？淀川が汚染されたら深刻な水不足にならないか？

→大阪府内の市町村には淀川以外の水源をもつものもあるが、大阪市は淀川以外に水源はない。浄化できないような汚染が淀川で発生すると、大変困るであろう。

□地下水はどのようにくみあげているのか？

→井戸を掘ってポンプでくみ上げているのではないか。

□海水と淡水の区別はどのようにしているのか？

→塩分がきわめて少ないものが淡水と呼ばれる。

□氷河はきれいなのか？

→氷河によるし、見る人の好みにもよる

□ベーリング海峡にダムをつくり、北大西洋海流を太平洋に流し、ロシア北部の気候を温暖にする計画があったと聞いたことがあるが、本当か？この計画実行されたとしたら目的は達成されるか？

→そのような計画は聞いたことがない。ダムを作ったら流すのではなくせき止めることになるのではないか。

□氷河を西アジアに持っていったら途中で融けるのではないのか？

→融けるであろう。

□もし船で氷河を引っ張って持ってきても、塩分が氷河に取り込まれ、使えなくなるのではないのか？

→どうして氷に塩分が取り込まれるのか？

□海水をろ過すると、淡水と塩に分かれるとする。その場合塩をずっと保存し続けられれば、淡水の割合が多くなるのか？

→淡水の割合が多くなるというより、塩が保存された分、海水の塩分が低下する。なお、海水は水溶液なので、ろ過はできない。

□海水で、上の方はすぐく流があるように感じたが、5000 m 以上の深いところでの海は、何万年単位で動いているのか？

→場所による。深いところでも深層海流が流れているところもある。

□海水は英語で何というのか？

→和英辞典に詳しい。